

「あいだ」をつなぐ ー大学の中でのコンテンツ作成ー

2011年11月28日(月) 18:30-20:30

京都大学学術情報メディアセンターには、コンテンツ作成室というチーム/部屋があります。私はここで、主に研究や教育・大学そのものの活動のためのコンテンツを、当事者である研究者や教職員と協同でデザインし、作成しています。思えば、大学と社会、研究者と研究者、教員と学生などさまざまな“あいだ”をつなぐことができるようにと、その仕組みやきっかけにつながるようにと試行錯誤してきました。今回は、コンテンツ作成室で手がけたコンテンツの紹介と仕事の進め方を紹介します。また、コンテンツ作成室が進化していくために、こんな支援があったら、こんな機能や場所があったらなど、みなさんからのニーズを伺えればと思っています。(ゲストより)

ゲスト 元木 環 氏

京都大学 情報環境機構 IT企画室/学術情報メディアセンター
助教 (コンテンツ作成支援担当)

大阪芸術大学芸術計画学科卒業。その後インターメディウム研究所(IMI)でアートアドミニストレーション、写真を専攻。人と人や人と自然の関係、アートと社会のつながりの部分が気になり、展示とワークショップを組み合わせて開催したり、フリーペーパーを発行したり、思いつくまま、出会いがあるままに作品制作と企画を行っていた。芸術系専門学校や大学の非常勤スタッフで食いつないでいた所、なぜか講師の先生から京都大学メディアセンターへ働きにこないかと誘われ、断りきれずにずるずると仕事をするようになる。最初は言葉も通じない環境だったのが、いつの間にか研究者と話すのも面白くなり、中にいるからこそできる仕事の面白さにはまっている。

会場 京都大学 吉田泉殿

- * 京町家風の建物です。
- * 普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- * 入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- * 当日参加も可能です！
- * お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おなががすく時間なので)

夕ご飯をご持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

加納 圭・水町 衣里 (京都大学)



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/ukoKjy>